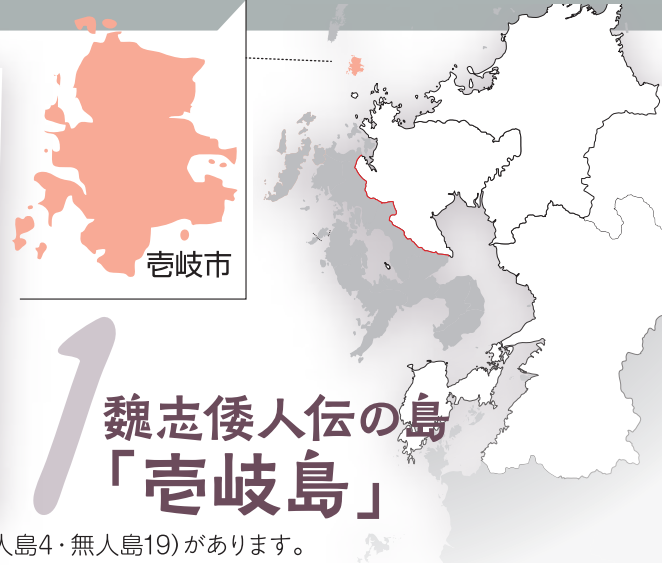


一支国王都復元公園



### 魏志倭人伝の島「壹岐島」

対馬市と福岡市の間地点にある壹岐島は、周囲に23の属島(有人島4・無人島19)があります。原の辻遺跡は、弥生時代の環濠集落で、“遺跡の国宝”にあたる国の特別史跡に指定されています。中国の歴史書「三国志」の「魏志」倭人伝に壹岐島は一支国として登場し、弥生時代における最先端の交易拠点として重要な役割を果たしました。2015年に10件の貴重な文化財が五島市・対馬市とともに「国境の島 壹岐・対馬・五島～古代からの架け橋」として日本遺産第1号に認定されました。



壹岐焼酎(七蔵)

壹岐島は平坦な土地が多く、県内でも農業が盛んな地域です。潮風を受けミネラルが豊富な牧草で育った壹岐牛は最高級と言われています。また、ゆずを使った加工品が多く、ゆずこしょうやゆずの皮を調味料で煮詰めた“ゆべし”など多くの特産品があります。島らしく漁業も盛んです。海女さんが素潜りで獲るウニも名物のひとつです。壹岐焼酎は麦焼酎発祥の地としてWTO(世界貿易機関)から地理的表示の産地指定を受けています。

#### (一社) 壹岐市観光連盟

漁業体験や歴史文化体験などの各種体験が可能です。壹岐島内を満喫してください。

エリア 壹岐市(壹岐島)  
問合せ 0920-47-3700

体験 シーキャンドル作り体験  
漁業体験  
郷土料理作り体験など

宿泊 各種施設の紹介

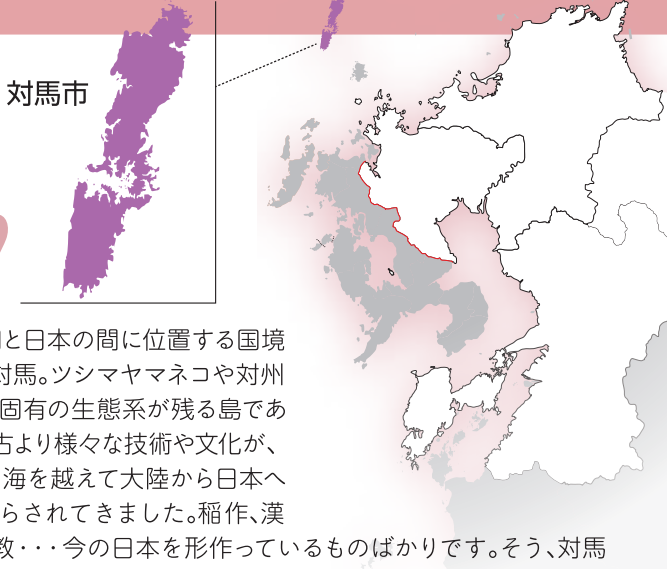


釣り体験

シーキャンドル作り体験

陶芸手びねり体験

対馬市



早朝の漁の風景

### 暮らしの原点を 見つめ直す旅へ

韓国と日本の間に位置する国境の島、対馬。ツシマヤマメコや対州馬など固有の生態系が残る島であり、太古より様々な技術や文化が、国境の海を越えて大陸から日本へともたらされてきました。稲作、漢字、仏教...今の日本を形作っているものばかりです。そう、対馬には日本人の暮らしの原点があるのです。

自然そのものに神が宿ると考える原始的な信仰、海や山や田畑から恵を受け旬をいただく食文化、自然のしくみを上手に取り入れた農業・加工技術、伝来当時の姿のまま変わらずに作り続けられている在来品種など、対馬の人々は、今も変わらずにその暮らしを続けています。

### 2 自然と共生した食文化

対馬は約90%が森林ですが、森の中で栽培する原木しいたけは肉厚で特産品となっています。また、国内の養蜂で利用されているミツバチは、ほとんどがセイヨウミツバチですが、対馬ではニホンミツバチの貴重なはちみつが作られています。また、原種に近く小粒で香りが強い対州そばが守り育てられており、人々に親しまれています。また、さつまいもを発酵させたせん団子を使った麺状のろくべえなど独特の食文化が残っています。さらに、対馬海流の恵みである魚介類が豊富に取れるほか、特産のたたきいかの製造過程ではイカをメリーゴーランドのような機械で回転・乾燥させる珍景が見られます。

原木に生えるしいたけ



#### 対馬グリーン・ブルーーツリズム協会

海、山、里、三拍子すべてそろった対馬を満喫できる各種体験が可能です。民泊と体験、対馬を暮らすように過ごしてみませんか。

エリア 対馬市(対馬島)  
問合せ 0920-85-1755  
体験 漁業体験、農業体験  
郷土作り料理体験など  
宿泊 農林漁業体験民泊



そば打ち体験



釣り体験



龍良山トレッキング

農業体験